

川島ひばりが丘特別支援学校の活性化・特色化方針

（令和3年度～）

1 学校基本情報

種別	肢体不自由	学部・ 学科	小・中・高等部 訪問教育部	児童 生徒数	(男)100名 (女)60名	計 160名
ホームページ	http://www.hibari-sh.spec.ed.jp/					
アクセス	JR 桶川駅もしくは東武東上線川越駅よりバス 「釘無」バス停下車 徒歩5分					
教育課程等 の特徴	児童生徒一人ひとりにあった、複数の教育課程。 一人ひとりの実態に沿った授業内容。 2学期制による授業時間の確保。					
特色ある 学校行事や 部活動	各学部で開催する、活気あふれる運動会・体育祭。 児童生徒一人ひとりが活躍する文化祭「ひばり祭」。 高等部の生徒が参加するクラブ活動「ひばりクラブ」(スポーツ・音楽表現・リラクゼーション) * 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小または中止。					
家庭・地域 との連携	小中高の学部ごとに、近隣の小中高校と交流会を行っている。 就学関係者対象の学校説明会を2回、一般対象の学校公開を1回行っている。 支援籍学習を小・中あわせて35人(29校)が行っている。(平成31年度) 公開講座や、PTA主催夏祭りの実施。 * 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、縮小または中止。					
進路に ついて	小学部・中学部児童生徒は、本校中学部・高等部にそれぞれ進学している。 (一般の中学校・高等学校等へ進学する例もある。) 高等部：就労支援等(14%)・生活介護(71%)・その他(14%) 【施設就労】近隣市町の福祉施設、作業所など。					

(児童生徒数：R2.5.1 現在、進路はH2.3 卒業生の状況)

2 育成方針 県立川島ひばりが丘特別支援学校（児童生徒の成長物語）

学校教育目標

- (1) 障害に伴う困難を改善・克服しながら、自ら生活を切り開く意欲や態度を養い、個性ある自己実現を図る。
- (2) 心の優しさやたくましさや豊かで調和のとれた人間性を高める。

目指す学校像

- (1) 将来の自立や社会参加に向け、心豊かに、たくましく生きる力を身につけることのできる学校。
- (2) 保護者や地域、関係諸機関から信頼され、誇れる学校。



重点目標と具体的方策

- (1) 児童生徒一人ひとりの可能性と力を最大限引き出す授業づくり。

新型コロナウイルス感染拡大防止への対応及び授業再開時の正常化
教員の資質向上
教育活動の充実
ICT 活用

- (2) 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための取組の推進。

センター的機能の発揮
本校及び本校児童生徒に対する理解深化のための取り組み

- (3) 年間を通して児童生徒が健康で安全に学習できる環境づくり。

安心安全の維持向上
早期発見・早期対応の徹底
災害対策



小学部 学部目標

- (1) げんきいっぱい
- (2) ともだちいっぱい
- (3) やるきいっぱい

中学部 学部目標

- (1) すずんで学習に取り組み、生き生きと活動しよう。
- (2) 思いを伝え合い、友だちと仲良くしよう。
- (3) 明るく元気に過ごそう。

高等部 学部目標

- (1) より豊かな人生を送るための生活力や文化を享受する力を身につける。
- (2) 人との関わりや生活経験を広げる中で自己表現力を高める。
- (3) 基本的な学力を培い、生活の質の向上を図る。
- (4) 将来の社会生活を意識し、働く意欲や態度を養い、知識や技能を身につける。

訪問教育部 目標

< 在宅・施設訪問 >

- (1) 外界へ興味関心を抱き、主体的に学習活動に取り組める児童・生徒
- (2) 心豊かに生き生きと毎日の生活を楽しめる児童・生徒

< 病気療養児訪問 >

- (1) 進んで学習に取り組める児童・生徒
- (2) 健康管理に努め、入院生活に目標を持ち前向きに生きる児童・生徒